

壁掛吸引器 WS-1400

【警告】＊

＜使用方法＞

- 吸引瓶および吸引瓶の付属品は、洗浄後必ず滅菌または消毒すること。〔感染防止のため〕
- 吸引物が一杯になった状態で吸引し続けけないこと。〔フロート面に吸引物が付着してフロートが動かず、吸引調整器本体やパイピング内に吸引物を吸い込む可能性がある。〕

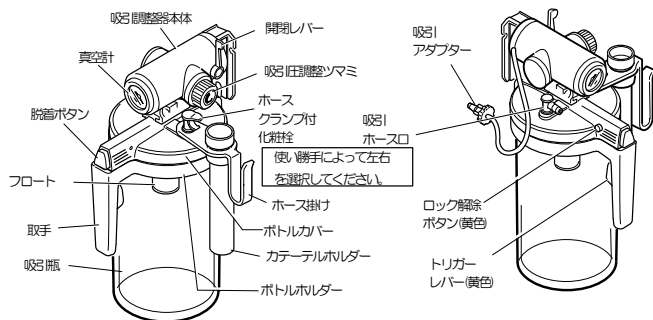
【禁忌・禁止】＊

＜使用方法＞

- 吸引以外(採血用など)の目的で使用しないこと。〔正常に作動する保証ができず、危険が伴うため〕

【形状・構造及び原理等】＊

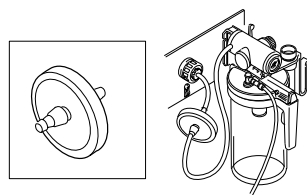
1.形状・構造



＜オプション(別売)部品＞

感染対策フィルター(PTFE)

院内配管への吸引物のミスト侵入を防ぎます。吸引調整器本体と吸引アダプターの間 hoses を切断して使用します。



2.原理

本器は、院内配管設備の吸引源などを利用した非電動式吸引器です。吸引調整器本体はダイヤフラムとスプリング、吸引圧力調整ツマミ等で構成され、吸引源に接続するとダイヤフラムを挟んだ両側に圧力差を生じ(吸引源圧力と大気圧の差)、調整ツマミを回すと弁が開いて吸引瓶内に負圧が生じ、吸引が可能となります。調整ツマミによりスプリングの伸縮を調整することで、吸引圧力を調整できます。

仕様等

- ・10 秒以内に -20kPa 以上の吸引圧力に到達する。
- ・吸引瓶容量 1400mL

【使用目的又は効果】

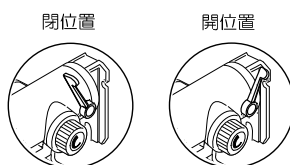
本器は、病院の医用ガス供給システムから供給される陰圧を利用して、ベッドサイド又は手術室の患者の気道の異物除去、口腔内の不要溜まり液、手術中又は手術後の血液、洗浄・消毒液の吸い取りなど、医療施設での治療・吸引処置に用いられる。

【使用方法等】＊

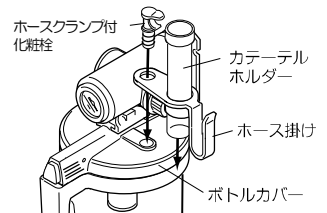
詳細については取扱説明書の「1.準備」を参照してください。

1.準備

- ① 病室のアウトレットパネル部のハンガー受けにしっかりと取り付けてください。
- ② 開閉レバーが「閉」の位置であることを確認してください。
- ③ 吸引アダプターをアウトレットパネルの吸引用アウトレットに「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



- ④ 取手を握り脱着ボタンを押しながら、吸引調整器本体下部のスライド溝にボトルカバーのガイドを合わせて差し込み、吸引瓶ユニットを取付けてください。(脱着ボタンを押しながら差し込むと、スムーズな取り付けができます)
- ⑤ 吸引ホース口に吸引ホースを差し込み、一方には目的に合った市販のジョイント付カテーテルなどを接続してください。
- ⑥ 吸引ホース口は左右のどちらかにセットできるようになっていますので、使用しやすい方に取り付けてください。取り付けの際、L 型ノズルの出口が真正面を向くか、真後ろ側になるようにセットしてください。(使用しない方の穴には必ずホースクランプ付化粧栓を取り付けておいてください。付け忘れると吸引できません)ホース掛け、カテーテルホルダーを使用する場合は、ホース掛けをはさみ込んでから化粧栓を取り付けてください。化粧栓を付け替える場合は、吸引瓶ユニットを外して付け替えてください。

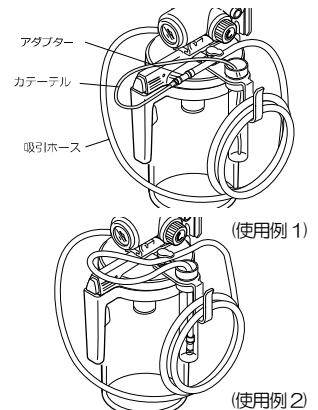


2.使用方法

- ① 開閉レバーの位置を「開」の位置にします。
- ② 指で吸引ホースを折り曲げて、真空計を見ながら調整ツマミを右に回して必要な圧力(医師の処方した圧力)に調整します。
- ③ 圧力が設定できたら、吸引を開始してください。

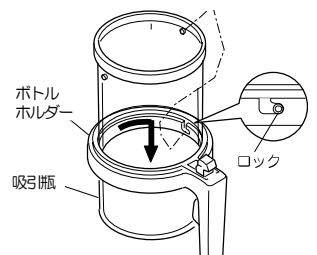
※吸引瓶内に吸引物が一杯になると、フロートが動き自動的に吸引が停止するとともに、ホイッスルが鳴り吸引物の廃棄をお知らせしますが、吸引物はできるだけ吸引停止になる前に早めに捨てるようにしてください。

- ④ 吸引を一時的中止する時は、開閉レバーを「閉」の位置にしてください。また、ホース掛け、ホースクランプ、カテーテルホルダーを右図のように活用すると大変便利です。



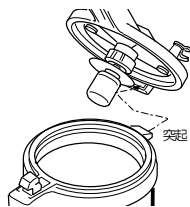
3.使用後の取扱いについて

- ① 吸引が終了したら開閉レバーを「閉」の位置にして、パイピングの吸引源を止めてください。
- ② 脱着ボタンを押しながら吸引瓶ユニットを取り外してください。
- ③ 片方の手でボトルカバーのロック解除ボタンを押し、もう片方の手で取手のトリガーを握りながら、ボトルカバーを外してください。
- ④ 吸引物を捨て、付着した吸引物の凝固を防ぐために速やかに洗浄を行ってください。温水で洗浄する場合は、60℃以下で行ってください。洗浄後、滅菌・消毒を行ってよく乾燥させたあと、正しく組み立て、次回の使用に備えてください。
- ⑤ 吸引瓶を固定してボトルホルダーを時計方向に回すと、吸引瓶のロックが外れてボトルホルダーを外すことができます。取り付ける際は、ボトルの丸いロックをボトルホルダーの溝の奥までしっかり入れて、反時計方向に回してしっかりと固定してください。



取扱説明書を必ずご参照ください。

- ⑥ ボトルカバーを取り付ける際には、取手をしっかり握り、もう一方の手でボトルカバーを持ち、取手の反対側にある突起の部分にボトルカバーの鍵穴に合わせます。その後、ロック解除ボタンが「カチッ」と音がするまでボトルカバーを押し込んでください。



- ⑦ 本体の外装部は、水で湿せた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。(クレゾール、ヨードホルム、アルコール系、両性界面活性剤等の消毒剤で清拭しないでください。ヒビ割れの原因になります。)

【使用上の注意】*

＜重要な基本的注意＞

- 吸引ホースが折れ曲がらないように注意すること。
- 長時間使用しない場合は開閉レバーを「閉」の位置にし、必ずアウトレットパネルから吸引アダプターを外しておくこと。
- 長時間使用しなかった場合は点検に出すなど、作動上の安全を確認してから使用すること。
- 吸引瓶ユニットを吸引調整器本体に取り付けるとき、または取り外すときは、必ず取手を持って操作すること。
- 吸引瓶を外すときは落下しないよう十分注意すること。
- 部品の取り付け向きには十分注意すること。(特にフロートストップ、瓶パッキン)。また、付け忘れや紛失に注意すること。

＜不具合・有害事象＞

- 1) 重大な不具合
吸引異常(吸引不能・過吸引)
- 2) その他の不具合
接続部からの気密漏れ
- 3) その他の有害事象
感染

【保管方法及び有効期間等】*

＜保管方法＞

- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響を生ずる恐れのない場所に保管してください。
- 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など、安全状態に注意してください。
- 吸引瓶および吸引瓶の付属品は、洗浄・消毒後よく乾燥させて、ちり・ほこりがはまらないよう、清潔な場所に保管してください。

＜耐用期間＞

本器の耐用期間は購入後7年です(当社データによる自己認証)。ただし、推奨された環境で使用され、次の「保守・点検に係る事項」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。

【保守・点検に係る事項】*

＜滅菌・書毒について＞

- ① 吸引瓶および吸引瓶の付属品は、分解・洗浄後エチレンオキシドガス(EOG 滅菌または消毒剤による浸漬消毒をしてください。(吸引調整器本体は、滅菌・消毒できません)EOG 滅菌を行う場合は 50℃以下で行い、滅菌後十分にエアレーションを行うなど、残留ガスには十分ご注意ください。
- ② 消毒剤による消毒の際には医療従事者の判断のもと、適した消毒剤を選択し、用法・用量を必ずお守りください。各部品の耐薬性については、取扱説明書の「4.滅菌・消毒について」を参照してください。

＜使用者による保守・点検＞

点検項目(日常点検)

- 外観の点検(破損・汚れ・部品の紛失・接続部の緩みなど)
- パッキンが正しく取り付けられているか確認してください。
- 接続部やツマミ等に緩みがないことを確認してください。
- 開閉レバーの動きが正常で、指で吸引ホースを折り曲げ、吸引圧調整ツマミを回して真空計の指針がスムーズに変動することを確認してください。

点検頻度:使用前に点検

点検項目(保守点検)

ユーザー点検の項目については、取扱説明書の「保守・点検」のチェックリストを参照してください。

点検頻度:3ヵ月に一度

点検により異常が発見された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者に点検・修理を依頼してください。

＜業者による保守・点検＞

点検項目(定期点検)

ゴム製部品などの消耗部品の交換のほか、機能・性能点検を行います。また、必要に応じて消耗部品以外の劣化の進んでいる部品の交換を行います。吸引器は長時間の使用の中にミスト状の吸引物等が本器内部に侵入しますので、必ず定期点検を受けてください。(有料となります。点検周期については当社推奨)

点検頻度:2年に一度

製造販売元または医療機器修理業者による定期点検を実施してください。

消耗部品の交換について

- PTFE 吸引フィルター(別売品)はミスト状(霧状)になった吸引物が付着するため、徐々に目詰まりを起こします。吸引力が低下したと感じたら、早めに交換をしてください。万一吸引物をフィルターに吸い込んでしまった場合には、1回で目詰まりを起こし、吸引できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、使用頻度や吸引物の性状等により、フィルターの交換時期は異なります。滅菌・消毒しての再使用はできませんので、新しいフィルターと交換してください。目詰まりを起こした場合にすぐに交換できるように、常に予備用フィルターのご用意をしていただくことをおすすめします。(詳細については取扱説明書の「別売品について」を参照してください)
- パッキン、フロート、吸引瓶、ホース類は消耗部品です。破損、ヒビ、劣化や変形等が見られる場合には速やかに当社純正部品に交換してください。また、パッキン、吸引ジョイントシール等のゴム製部品およびプラスチック製部品は経年劣化しますので、定期点検を必ず受けてください。

修理について

お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者での修理を行ってください。

お願い

本器を修理として戻される場合には、滅菌または消毒を行った後にお戻しください。なお、感染症等の恐れがある場合にはお受け取りできませんので、あらかじめご了承ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元:株式会社 Sanko Medical

埼玉県さいたま市西区中釘 652 番地 048-624-8121